



# かしまホットニュース

## 鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.23

市のホームページでもご覧いただけます



### 1. 九州大会で優勝！鹿島高校の今村莉花選手！

全九州高校体育大会が大分県で開催され、陸上女子400メートル障害で鹿島高等学校3年生の今村莉花選手が、59秒11の大会新記録で三連覇を果たしました。今村選手は、自己記録を0.85秒縮め、昨年のインターハイ(全国高等学校総合体育大会)優勝記録を上回るタイムで優勝されました。また、400メートルでも55秒78のタイムで見事優勝に輝きました。8月2日から三重県伊勢市で開催されますインターハイでの活躍を期待しています。



今村莉花選手(佐賀県高校総体の写真)

### 2. 浜小学校6年生3位！交通安全子供自転車佐賀県大会！

6月23日、交通安全子供自転車佐賀県大会が佐賀市で開催され、鹿島市の代表として出場した浜小学校6年生6人が見事3位に輝きました。小学生が自転車の知識や運転技術を競う本大会に、県内各地から16校64人が出場し、道路標識などを問う学科テストと運転技術を披露する走行テストで争われました。また、個人の部では、小池空君が5位に入賞されました。7月3日には、6人全員で市役所を訪れ、市長へ報告し、賞状とメダルを披露していただきました。



63年生のなった浜小

### 3. アゲマキ漁 約20年ぶりに復活！市内販売も盛況で終了！

有明海特産の二枚貝、アゲマキ漁が約20年ぶりに復活しました。鹿島市の決められた干潟に限り漁が再開され、取れたアゲマキは、佐賀市の直売所「まえうみ」や鹿島市の道の駅鹿島でも販売されました。道の駅鹿島では、6月10日から毎週日曜日に、1パック250グラム入のアゲマキが60～70パック売られていました。購入希望者が多いため、整理券が配られ、毎回午前中には売り切れていたそうです。道の駅鹿島での販売は、7月1日で終了しました。漁獲量が回復し、多くの人に有明海の幸を味わっていただけることを願っております。



アゲマキ料理

### 4. 有明海の人気者「むつごろう」が蒲鉾に！

むつごろうの形がかわいい蒲鉾が、市内業者のコラボにより誕生しました。「むつごろう練込蒲鉾」は、平成28年に市の学校給食センターが全国学校給食甲子園に出場したときのメニュー、「むっちゃん揚げ」からヒントを得た市内業者の開発により誕生しました。むつごろう型の蒲鉾に骨ごと粉末にしたむつごろうが練り込まれ、プリツとした弾力のある食感です。5月に開催された九州市長会では、お吸い物の具として使用され、インパクトもあり、好評でした。「むつごろう練込蒲鉾」は肥前鹿島駅の観光物産センター、道の駅鹿島、海道しるべでも販売しています。ぜひ、食べてみてください。



むつごろう練込蒲鉾



### 5. 運動会で踊る面浮立に向けて！鬼の面作りにチャレンジ！

鹿島市には、約80もの伝承芸能が各地区に伝わっています。面浮立も七浦地区を中心に数多く伝わっており、市内の小学校7校では、3,4年生の時に運動会で、曲や踊りがアレンジされた面浮立が踊られています。その時かぶる鬼の面が各小学校で作られますが、明倫小学校では、今年初めて、固まると軽量になる粘土で、本物の面そっくりに型取り、鬼面につけるシャグマ(毛)も作るようになりました。7月1日に、浮立面を制作されている木彫工房「杉彫」の小森恵雲さんと息子の恵司さんの指導を受けながら、真剣に子どもたちは面作りに取り組み、面の型取りとシャグマの作成まで進みました。後日、色をぬり、シャグマを付けて完成となります。運動会の日が楽しみです。



浮立面の作成の様子と型取った鬼の面

鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。

